教育課

社会教育

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	03			中事業CD	03		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	01	子ども遊園地維持管理経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 / 05 / 社会教育費 / 04 / 青少年育成費	小事業区分	新規・(継続)		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	1,149	修繕費を直近3年の実績を基に計上したため、増額となっています。 工事費は新規遊具設置の予定がないため、500千円減額となっています。	1,480	3,028
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	306		137	129
1 消耗品費	50		57	50
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料	256		80	79
その他				
11 役務費				
12 委託料	244		244	220
13 使賃料	599		599	599
14 工事請負費			500	2,080
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	1,149	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,480	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,149		1,480	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1303】（青少年健全育成）「ちびっこ広場の遊具設置と点検」

子どもが安心して遊ぶことができるように、安全に管理する。

事業の概要

子どもが安心して遊具を使用できるように年１回点検を行い、不良箇所がある場合は修繕を行う。

事業の実績

点検については年１回実施出来ている。
また、各自治会からの要望などにはできる限りの範囲で答えている。

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

点検による「D」判定の遊具については、順次更新が必要である。

事務事業評価の結果（１次）	ー	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	ー	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
自治会と協議の上、子どもたちが安心して楽しく遊ぶことができるよう遊具の設置や修繕を行った。また遊具の点検結果から修繕が必要な遊具については、修繕の対応を行った。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11	（目標）	－	中事業CD	01	（施策）	－
		（政策）				（主要な取り組み）	

小事業CD	01	生涯学習関係運営経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	講習参加者数		
款項目	09	教育費 / 05 社会教育費 / 01 社会教育総務費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	850	目標年度	令和 2年度

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	2,566		2,500	2,520
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	2,320		2,320	2,349
8 旅費	3		3	
9 交際費				
10 需用費	158		158	154
1 消耗品費	20		20	19
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費	138		138	135
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	19		19	17
12 委託料				
13 使賃料	66			
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	2,566	基準額・補助率・歳入科目コード等	2,500	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	1,341		1,341	
5 一般財源	1,225		1,159	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1202】（社会教育）「生涯学習活動の活性化」

住民ニーズや時代背景を反映した講座の開催や、住民が企画・運営する「マイセルフ講座」の充実に努めるほか、公民館講座も開催し、多くの学習機会の提供を創設していく。

事業の概要

マイセルフ講座は、住民自身が講師となって講座を立ち上げ、前期・後期で受講者を募集し活動を支援していく。その他、定住自立圏共生ビジョンにより、美濃加茂市や他の加茂郡町村と連携しながら、情報誌の共同発行やホームページの作成・運営などを通じてお互いの講座を知ることができる環境を創り上げていく。あわせて、住民による自主的な学習活動グループへの支援を進める。

事業の実績

美濃加茂市との定住事業連携により情報誌の共同化が定着してきている。
これまで開講できなかった講座が開講出来たり、参加者も増加している。
マイセルフ講座の数も増えてきており、住民の方が多くの中から選択できる環境が整ってきている。

令和３年度	開講講座数　６０講座	受講人数　６１９人
令和２年度実績	開講講座数　１７講座	受講人数　１６１人
令和元年度実績	開講講座数　７５講座	受講人数　８３７人
平成30年度実績	開講講座数　７３講座	受講人数　８４３人

（鳩吹大学、パソコン教室を含めた人数）

事業の成果指標

生涯学習に関する各種講座への参加者数

事業の目標値	
単位	人／年度
R03 年度末	800
R04 年度末	800
R05 年度末	830

R03年度の到達目標（課題・改善策等）

講座後のサークル活動場所の調整、文化協会などへの勧誘。

事務事業評価の結果（１次）	A	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	A	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞

コロナ禍ではありながらも、前期・後期ともに開講することができた。しかし新型コロナウイルスの影響で、例年より開講数が少なく、それに伴い参加者も少なくなった。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　一評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11			中事業CD	01		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	02	高齢者学級運営経費					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	06	高齢者学級費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	103		103	86
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	80		80	60
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				13
1 消耗品費				13
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	23		23	13
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	103	基準額・補助率・歳入科目コード等	103	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	70		70	
5 一般財源	33		33	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1202】（社会教育）「生涯学習活動の活性化」

高齢期の学習の機会を広げ、高齢者自らの意欲とニーズによる学びを深める。

事業の概要

歴史や生活などの学習及び運動なども行い、受講者同士の交流も深めながら学習を実施していく。
鳩吹大学の実施。
実施回数　１０回/年

事業の実績

参加者も多く、色々な分野の学習ができる場として確立している。
令和３年度　　鳩吹大学受講者　３３名
令和２年度実績　　新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止
令和元年度実績　　鳩吹大学受講者　７５名
平成30年度実績　　鳩吹大学受講者　７２名
平成29年度実績　　鳩吹大学受講者　６９名

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

毎年４０名前後が同じ受講者となっているため、受講者増加につながるカリキュラムの工夫を行っていく。

事務事業評価の結果（１次）	A	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	A	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
全１０回の計画で講座を企画していたが、新型コロナウイルスの影響により６回の開催となった。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11	（目標）	－	中事業CD	02	（施策）	－
		（政策）				（主要な取り組み）	

小事業CD	01	公民館運営経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	公民館まつりなどのイベントへの外国籍住民参加者数		
款項目	09	教育費 / 05 社会教育費 / 02 公民館費	小事業区分	新規・(継続)		□ 成果目標がない	目標値	30	目標年度	令和 2年度

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	19,020	中央公民館特定建築物定期調査報告（3年に一度の定期報告業務）	19,431	26,124
1 報酬	2,053		2,072	4,509
2 ～4給料手当等	3,579		3,181	
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費	50	【1204】鳩吹大学やマイセルフ講座、夏休み子どもチャレンジ講座など、令和２年度はコロナ禍の影響で中止が多かったものも令和３年度は実施できた。公民館まつりも感染対策や観客動員数の制限などを行い開催した。	19	
9 交際費				
10 需用費	4,216		5,204	6,448
1 消耗品費	396		384	358
2 燃料費	32		28	7
3 食糧費		【1205】図書室の司書を雇用し、図書室の適正な運営や町の読書活動の推進のための事務を行った。		
4 印刷製本費				
5 光熱水費	3,288		4,284	3,273
6 修繕料	500	【6105】以前は公民館まつりで外国籍関係のブースを作っていたが、令和３年度は縮小してステージと展示のみのまつりとしたため、外国籍住民との交流は作れなかった。	508	2,810
その他				
11 役務費	633		750	692
12 委託料	7,657		6,953	8,135
13 使賃料	213		214	265
14 工事請負費	385		800	5,483
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	234		238	3
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				
				589

○ 財源　計	19,020	基準額・補助率・歳入科目コード等	19,431	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	963		1,034	
5 一般財源	18,057		18,397	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1203】（社会教育）「社会教育施設の有効活用」
【★７次総 1204】（社会教育）「交流活動の活発化支援 」
【★７次総 1205】（社会教育）「図書館の共同利用と読書活動の推進」
【★７次総 6105】（地域間交流・多文化共生）「外国籍住民との交流機会の充実 」

施設の利用調整や料金の適正化など、社会教育施設の有効な活用方法について検討を進め、将来的に施設管理の部分委託などの実施も検討しながら、将来的に指定管理者への委託が出来るかどうか見極めていく。

事業の概要

中央公民館における貸し館業務について、適正な団体への貸し出しと調整を行い、適正な維持管理を行っていく。
維持管理では空調工事が終了したが、ホールの照明や音響設備の老朽化が見られるため、計画的な設備の更新を実施する。
平成２４年度より料金形態を変更し、時間単位での貸し出しを行えるように変更した。

事業の実績

必要な修繕や定期的な保守管理も行えている。
R３年度実績　延べ1,063団体　11,388人利用（利用実績より）※学びのとびら込み
R２年度実績　延べ　672団体　9,232人利用（利用実績より）※学びのとびら込み
R元年度実績　延べ1,573団体　16,618人利用（利用実績より）※学びのとびら込み
H30年度実績　延べ1,624団体　27,456人利用（利用実績より）※学びのとびら込み
H29年度実績　延べ　958団体　16,189人利用（利用実績より）※学びのとびら無し

事業の成果指標

公民館まつりなどのイベントへの外国籍住民参加者数

事業の目標値	
単位	人／年度
R03 年度末	15
R04 年度末	15
R05 年度末	15

R03年度の到達目標（課題・改善策等）

各種教室が開催できるよう、適正な管理運営に努め、公民館祭りの実施を行う。
公民館は建築から２０年以上経過しているため、計画的な改修などが必要となってくる。
将来的にはトイレの洋式化、音響・照明関係、視聴覚室の整備など

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
【1203】中央公民館の施設の保守点検等を行い、機能維持に努めた。また、新型コロナウイルス感染対策として抗菌コーティング作業を行い、安全に利用できる環境整備を行った。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11	（目標）	－	中事業CD	02	（施策）	－
		（政策）				（主要な取り組み）	

小事業CD	02	社会体育施設管理経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	社会教育施設・学校開放施設の稼働率		
款項目	09	教育費 / 06 / 保健体育費 / 03 / 体育施設費	小事業区分	新規・(継続)		□ 成果目標がない	目標値	85.0	目標年度	令和 2年度

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	6,336	社会体育施設電気使用料及び水道料が、令和元年度実績により減額となりました。 令和２年度はドームの浄化槽放流ポンプ修繕が行われましたが、今年度は工事の予定がありませんので、工事費においても減額となっています。	7,867	7,674
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	4,169		5,275	3,777
1 消耗品費	477		480	175
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費	3,192		3,718	3,171
6 修繕料	500		1,077	431
その他				
11 役務費	246		229	230
12 委託料	1,733		1,732	1,610
13 使賃料	188		189	191
14 工事請負費			442	1,866
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	6,336	基準額・補助率・歳入科目コード等	7,867	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	5,813		5,812	
5 一般財源	523		2,055	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1502】（社会体育）「社会体育施設の有効活用 」

施設の利用調整や料金の適正化など、社会教育施設の有効な活用方法について検討を進め、周辺市町村の動向を見ながら、電子化の導入についても検討し、指定管理導入についても実施可能かどうか見極めていく。

事業の概要

社会教育施設（社会体育施設）の適正な使用のため、各種団体・競技への適正な振り分けを行い、公平性のある使用を行っていく。
また、料金体系についても周辺市町村との比較などを行いながら、適正な価格での貸し出しが出来るように平成24年度に見直しを行った。2019年10月の消費税の増税されているため、今後の使用料について再検討する。

事業の実績

令和３年度実績　社会体育施設の稼働率（１０月末分まで）　６７％　４年度目標　８０％
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町外団体の利用を許可しなかったため、利用率が減少した。
必要な維持管理は出来ている。

令和２年度実績　社会体育施設の稼働率（1月末分まで）　64.0%　２年度目標　80%
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町外団体の利用を許可しなかったため、利用率が減少した。
必要な維持管理は出来ている。

事業の成果指標

社会体育施設及び学校開放施設の稼働率（※主要14施設）

事業の目標値

単位	%／年度
R03 年度末	80
R04 年度末	80
R05 年度末	81

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

施設や種目別用具の老朽化への対応

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	7,456	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	7,456	千円

＜特記事項＞
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、施設の利用中止期間があったことや、町外団体への貸出を中止していたことから、稼働率が低下した。
毎週職員で各体育施設の点検を行い、異常がないか見るように努めた。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11			中事業CD	02		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	03	町民ふれあいプール管理経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 06 保健体育費 05 プール管理費	小事業区分	新規・(継続)		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	2,123	町民ふれあいプールの運営事業を中止するため、プール運営に係るすべての経費を削減しました。 ただし、坂祝スポーツクラブの筋トレ教室等を継続実施するため、管理棟施設、トイレ施設は今後も管理を続け、電気・水道、浄化槽等維持管理経費のみ計上します。 電気代については、プール営業終了より1年以上が経過したことにより、デマンド料金制のため、減額となりました。 浄化槽修繕工事が完了したため、工事請負費が減額となっております。	7,240	26,210
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	664		2,168	4,361
1 消耗品費				309
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費	564		1,668	3,009
6 修繕料	100		500	1,043
その他				
11 役務費	86		160	213
12 委託料	1,373		1,373	21,180
13 使賃料			66	214
14 工事請負費			3,473	
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				
				242

		基準額・補助率・歳入科目コード等		
○ 財源　計	2,123		7,240	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	2,123		7,240	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1502】（社会体育）「社会体育施設の有効活用 」

坂祝スポーツクラブに管理棟を貸出、筋トレ等各種教室の実施を促し、町民の健康増進の一翼を担う。

事業の概要

プールとしての利用は令和２年度に廃止したが、施設の維持は必要であるため、最低限の施設維持管理を行う。

事業の実績

令和３年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため、８月下旬から９月末までスポーツクラブ筋トレ教室も中止。１０月から再開しています。

令和２年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため、９月末までスポーツクラブ筋トレ教室も中止。１０から再スタートで再開。１２月途中から県の非常事態宣言に合わせて、２月末まで使用禁止となっている。

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

事務事業評価の結果（１次）	ー	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	ー	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
R2年度プール運営中止。R3年度からプール廃止が決定。今後の施設の利用方法等について検討していく。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11			中事業CD	03		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	01	図書室運営経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 / 05 社会教育費 / 07 図書館運営費	小事業区分	新規・(継続)		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	1,594		1,584	2,735
1 報酬	108		108	104
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	99		99	86
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	232		222	177
1 消耗品費	199		189	177
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料	33		33	
その他				
11 役務費	6		6	5
12 委託料	146		146	551
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費	1,000		1,000	1,809
18 負補交	3		3	3
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	1,594	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,584	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,594		1,584	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1205】（社会教育）「図書館の共同利用と読書活動の推進」

近隣市町との図書貸し出しシステムの連携の充実を図り、利用者の利便性向上を進める。

【令和元年度　図書システム更新】
公民館パソコン３台（事務所１台・図書室２台）システム更新

事業の概要

図書の貸し出し業務を行う。（平成２３年度より定住自立共生ビジョンにより図書システムの連携を開始し、相互貸借や、インターネットでの検索・予約が開始され、美濃加茂市中央図書館への搬入やインターネットによる発注などの業務を実施。）
中央公民館図書室の施設の整備・システムの充実・各種サークル活動への助言などを行う。
図書専用のホームページから蔵書検索や本の予約なども出来る。
子どもに対してはの乳幼児期からの「よみきかせ」に多く触れてもらうよう機会などをつくり乳幼児期・幼児期からの子どもの読書活動を行う。

事業の実績

R03年度実績　中央公民館図書室貸し出し冊数　22,562冊／R3年度目標　19,000冊
R02年度実績　中央公民館図書室貸し出し冊数　14,719冊／R2年度目標　19,000冊
R元年度実績　中央公民館図書室貸し出し冊数　23,274冊／31年度目標　19,000冊
H30年度実績　中央公民館図書室貸し出し冊数　21,701冊／30年度目標　19,000冊
H29年度実績　中央公民館図書室貸し出し冊数　20,865冊／29年度目標　19,000冊
H28年度実績　中央公民館図書室貸し出し冊数　19,582冊／28年度目標　18,000冊

事業の成果指標

事業の目標値

単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
新型コロナウイルスの影響によりブックフェスタでの観劇は中止となったが、本の福袋やミニプレゼント企画などでブックフェスタを開催した。発刊物や広報誌による新着図書紹介などを行い、読書活動の推進に努めた。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11			中事業CD	04		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	01	町民運動会執行経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費	06	保健体育費	02	保健体育振興費	小事業区分	新規・継続	■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	390		390	399
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	390		390	399
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	390	基準額・補助率・歳入科目コード等	390	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	5		5	
5 一般財源	385		385	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1501】（社会体育）「スポーツ大会などの開催・支援」

住民が気軽に参加できる軽スポーツ大会を継続して実施するとともに、町民運動会の開催を支援する。

事業の概要

町民運動会の開催にあたり、実行委員会による「手づくり町民運動会」の成功のため、補助金の交付や人員の補助などを行う。
町民の方による自分たちの運動会の開催を目指していく。

事業の実績

令和３年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和２年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

令和２年度は、中止となったが、大勢の方々が競技に参加して頂ける運動会を開催したい。
自治会対抗競技では、選手集めが大変との声がある。しかし、リレーや綱引きなど、会場が非常に盛り上がっているので、引き続き継続できるようお願いしていく。

事務事業評価の結果（１次）	C	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	C	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
新型コロナウイルス感染拡大防止ため、運動会は中止した。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11			中事業CD	04		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	02	日本ラインロマンチック街道マラソン執行経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 06 保健体育費 02 保健体育振興費	小事業区分	新規・(継続)		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	387		387	325
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	104		104	97
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	157		157	108
1 消耗品費	81		81	56
2 燃料費	6		6	3
3 食糧費	70		70	49
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	80		80	74
12 委託料				
13 使賃料	46		46	46
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	387	基準額・補助率・歳入科目コード等	387	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	200		200	
5 一般財源	187		187	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1501】（社会体育）「スポーツ大会などの開催・支援」

住民が気軽に参加できる軽スポーツ大会を継続して実施する。

事業の概要

日本ラインロマンチック街道マラソン大会を開催する。
坂祝町酒倉一色公民館をスタートして、風光明媚な木曽川からの風を感じながら、日本ラインロマンチック街道を走り抜け、新年のスタートとともに参加者で体力・健康づくりを始める。

事業の実績

令和３年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和２年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和元年度　参加申込み人数３８８人、参加者数３６２人

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標（課題・改善策等）

5.0ｋｍのスタート地点が寂しい。広報マンに写真をお願いするなど対応したい。

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
新型コロナウイルス感染拡大防止ため、ロマンチック街道マラソンは中止した。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11		
		（目標）	ー
		（政策）	ー

中事業CD	05		
		（施策）	ー
		（主要な取り組み）	ー

小事業CD	01	スポーツ推進員活動経費	事業年度	R03 ～ R12
款項目	09	教育費 / 06 保健体育費 / 01 保健体育総務費	小事業区分	新規・継続

成果目標		成果指標	ー		
	□ 成果目標がある	目標値	ー	目標年度	ー
	■ 成果目標がない				

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	1,257	スポーツ推進委員の２年任期の２年目。スポーツ推進委員の交代予定はありません 令和２年度に推進員の活動服等を更新しましたので、消耗品費が減額しました。	2,105	1,126
1 報酬	864		864	864
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	7		887	2
1 消耗品費	7		887	2
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	13		5	5
12 委託料				
13 使賃料	39			
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	334		349	255
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	1,257	基準額・補助率・歳入科目コード等	2,105	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,257		2,105	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1503】（社会体育）「スポーツ活動の推進・支援 」

多くの住民が身近なところでスポーツ活動に参加できるよう、総合型地域スポーツクラブの運営に向けた支援を行う。

事業の概要

スポーツ推進員の活動支援を行う。
多くの町民に体育振興並びに体育意識を向上させる。
町体育行事の運営
・町民ミニバレーボール大会
・手づくり町民運動会
・日本ラインロマンチック街道マラソン大会
・町民体力テスト　等

東海四県、岐阜県、可茂地区、加茂郡のスポーツ推進員各種研修会に参加し、技術の向上を図る。

事業の実績

令和３年度　新型コロナウイルス感染拡大防止により、町民ミニバレーボール大会、手づくり町民運動会、ロマンチック街道マラソン等の主要な町の体育関係事業はすべて中止となった。
東四、岐阜県、可茂地区、加茂郡のほとんどの研修会も中止となった。（後期女性部会のみ実施※11月時点）
多くの事業が中止になったが、1～3月にスポ推主催の軽スポーツ教室を計画。

令和２年度
新型コロナウイルス感染拡大防止により、町民ミニバレーボール大会、手づくり町民運動会、ロマンチック街道マラソン等の主要な町の体育関係事業はすべて中止となった。

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

軽スポーツの普及について、スポーツクラブと連携しての実施を検討する。

事務事業評価の結果（１次）	ー	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	ー	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
地区の研修会やスポーツ推進委員主催の行事は新型コロナウイルスの感染状況からほとんどが中止となったが、軽スポーツの体験会などを年度末にかけて実施することができ、R４年度以降のイベントについて検討していくことができた。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11			中事業CD	05		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	02	社会体育振興経費					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費	06	保健体育費	02	保健体育振興費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	1,109	【主要施策 1503】 坂祝スポーツクラブにおいて、可能な教室の開催を行い、少しでも町民の方のスポーツ実施機会を設けられるように支援した。今後はよりスポーツクラブによる教室の開催を充実させるよう目指す。またスポーツ推進委員の活動も自立したものができるよう目指したい。 【主要施策 1504】 コロナ禍ということで、イベント等が中止になるなど例年通りの活動ができなかったが、感染防止対策を講じながら活動した。団員数の増加を図り3団合同体験会を計画したが、感染状況を考慮し中止とした。R4年度は、コロナ禍でも工夫をしながら事業を行っていく。 【主要施策 1505】 コロナウイルスの感染状況を考慮し、加茂郡体育大会が中止となった。登録団体には、活動・大会開催において育成費等を交付し支援をしている。加茂郡大会で良い結果が残せるよう、引き続き支援をしていく。	1,239	1,069
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	14		14	7
1 消耗品費	8		8	7
2 燃料費				
3 食糧費	6		6	
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	2		1	1
12 委託料	39			
13 使賃料	48			
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1,006		1,224	1,061
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	1,109	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,239	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,109		1,239	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1501】（社会体育）「スポーツ大会などの開催・支援」
【★７次総 1503】（社会体育）「スポーツ活動の推進・支援 」
【★７次総 1504】（社会体育）「スポーツ少年団活動の支援」
【★７次総 1505】（社会体育）「体育協会活動支援」

町スポーツ団体の育成及び社会体育の推進を図る。
坂祝スポーツクラブの魅力あるクラブづくりをサポートする。

事業の概要

社会体育関係団体への負担金や体育協会・スポーツ少年団の育成に係る費用等の社会体育振興に係る経費を支出する。
・加茂郡体育協会
・加茂郡レクリエーション協会
・坂祝町体育協会
・坂祝町スポーツ少年団

事業の実績

令和３年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため、加茂郡体育大会、可茂地区体育大会等各種大会が中止となった。加茂駅伝、清流駅伝も中止となった。
令和３年１０月末時点の貸出状況は、６月１日から６月２０日までの期間で２０時以降の貸出を中止とした。８月２４日から９月３０日までの期間は全ての施設の貸出を中止とした。

令和２年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため、加茂郡体育大会、可茂地区体育大会等各種大会が中止となった。加茂駅伝、中濃駅伝、清流駅伝も中止となった。
令和２年２月２９日から５月３１日まで施設の貸出が中止。１２月１７日から１月７日まで、１月１２日から２月７日

事業の成果指標	事業の目標値	
	単位	
	R03 年度末	
	R04 年度末	
	R05 年度末	

R03年度の到達目標（課題・改善策等）

適正な団体登録を実施するために、団体に施設の適正利用や団体登録方法等の説明会を実施していく。
社会体育施設、学校開放施設の予約システム導入を検討する。

事務事業評価の結果（１次）	ー	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	ー	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
【主要施策　1501】
新型コロナウイルス感染拡大防止ため、ミニバレー等町主催大会は全て中止とした。R4年度は自治会中心ではなく、任意でのチーム編成でのミニバレー大会を開催したい。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	11			中事業CD	06		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	01	文化活動事務経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 / 05 社会教育費 / 08 文化活動運営費	小事業区分	新規・(継続)		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	363		365	510
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	150		150	255
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				54
1 消耗品費				54
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	163		165	151
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	50		50	50
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	363	基準額・補助率・歳入科目コード等	365	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	363		365	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1403】（文化芸術・文化財）「地域の伝統文化の継承」

文化協会活動を支援するとともに、各種文化芸術事業の活性化にむけた取り組みを進める。

事業の概要

文化協会の活動を支援することと、毎年行う文化協会体験教室を支援し、協会への加入を促進する。

事業の実績

年１回（令和元年度までは年２回）のほのぼのタウンコンサートを開催。
Ｒ３年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
Ｒ２年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
R元年度　第20回　入場者150人　第21回　入場者 200人　合計350人
H30年度　第19回　入場者120人　合計120人
H29年度実績　第17回　入場者120人　第18回　入場者 170人　合計290人
H28年度実績　第15回　入場者120人　第16回　入場者 170人　合計300人

事業の成果指標	事業の目標値	
	単位	
	R03 年度末	
	R04 年度末	
	R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

タウンコンサートの観客数が少ない場合もあるので、ＰＲ方法など検討し、観客の増加に努める。

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
町文化協会では、新型コロナウイルスの影響により、活動自粛等の判断をした団体が多かった。町主催の行事についても感染状況等を踏まえ中止とした。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	12	（目標）	ー	中事業CD 00	（施策） ー
		（政策）	ー		（主要な取り組み） ー

小事業CD	01	家庭教育学級推進事業（就学後）					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標 ー
款項目	09	教育費	05	社会教育費	03	家庭教育学級費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値 ー　目標年度 ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	91		91	219
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	90		90	219
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	1		1	
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	91	基準額・補助率・歳入科目コード等	91	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	91		91	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1201】（社会教育）「家庭の教育力の向上 」

子育てを行う家庭の教育力の向上のため、家庭教育学級を実施する。

事業の概要

家庭教育学級（各学校単位及）を開催。講師謝金などを町で負担し、家庭教育の教育力向上を図る。

事業の実績

小学校及び中学校により各ＰＴＡを対象に年間を通じ家庭教育学級を開催できているが、報告書等によると参加者数が伸び悩んでいる。
令和３年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和２年度　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和元年度　花まる学習会　相澤　樹　氏
平成30年度　慶應義塾　中室牧子　氏
平成29年度　読書講座
平成28年度　「あいうべ体操」今井みらいクリニック医師

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

事業の実施タイミングや内容の精査のほか、親に対する意識改革が必要である。
参加者数の増加

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
新型コロナウイルスの影響で合同家庭教育学級は中止となったが、在宅で出来る取組などを園・学校において進めることができた。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	12			中事業CD	08		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	02	青少年育成経費					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	04	青少年育成費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	602		601	598
1 報酬	243		243	216
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	27		27	27
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				35
1 消耗品費				35
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	12		11	
12 委託料				
13 使賃料		【主要施策 1305】		
14 工事請負費		夜間の見守りについては、大雨と新型コロナウイルス感染症の		
15 原材料費		影響で中止。また、有害図書の監視については、立入調査の実		
16 公財購		施により、各店舗に適切な対応をしてもらうように指導を行っ		
17 備品購入費		た。		
18 負補交	320		320	320
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	602	基準額・補助率・歳入科目コード等	601	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	602		601	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1301】（青少年健全育成）「青少年の健全育成 」
【★７次総 1305】（青少年健全育成）「青少年の適切な見守り活動の推進 」

小・中学校から青年期までの健全育成を目指す。

事業の概要

交流の機会づくりや、有害図書の監視、夜間の見回り活動などを推進する。
美濃加茂国際交流協会海外派遣負担金（３００千円）を支出する。
平成２３年度より中学生１名のオーストラリアダボ市への研修も開始。

事業の実績

青少年育成推進員の年間を通じた活動や、啓発活動を実施。
令和３年度活動実績　　１０回
令和２年度活動実績　　１３回
令和元年度活動実績　　２０回
平成30年度活動実績　　２０回
平成29年度活動実績　　２３回

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

青少年育成推進員の任期が２年であるため、後任となる適任者の選出が難航する。

事務事業評価の結果（１次）	ー	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	ー	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
【主要施策　1301】
青少年育成推進員の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となるものが多く、会議を行い活動を検討するのみであった。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	12			中事業CD	08		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	03	青少年育成町民会議運営経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	04	青少年育成費	小事業区分	新規・(継続)	■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	133		139	79
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	40		40	20
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	62		65	36
1 消耗品費	62		65	36
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	25		28	17
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費		【主要施策　1302】		
18 負補交	6	あいさつ活動の日を決め、町民にも協力を仰ぎながら、誰もがあいさつをできるまちづくりを行った。	6	6
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	133	基準額・補助率・歳入科目コード等	139	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	4		4	
5 一般財源	129		135	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1301】（青少年健全育成）「青少年の健全育成 」
【★７次総 1302】（青少年健全育成）「あいさつ運動の推進」

小・中学校から青年期までの健全育成を目指す。

事業の概要

２つの部会の活動で、あいさつ活動を行ったり、夜間の見回り活動を行う。

事業の実績

町民の集い、各部会活動など順調に行えている。
R３年度
町民の集い　　１２月に実施
町民会議全体　あいさつ運動（毎月）
中学校全校福祉活動への協力
※小学校PTA環境整備活動は中止
家庭部会・青少年部会会　合同企画1回　青少年部会１企画　家庭部会１企画

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

部会活動の事業が同じなので、マンネリ化しないように事業の内容を工夫して実施していくことが必要である。

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
【主要施策　1301】
新型コロナウイルス感染症の影響で自宅でできる「おうちでチャレンジ！クッキング！」や「家族でEnjoy!!おうち時間」を実施。また、青少年育成町民の集いの青少年主張発表は、一般募集し、開催した。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	12	（目標）	－	中事業CD	08	（施策）	－
		（政策）				（主要な取り組み）	

小事業CD	04	子ども会育成協議会活動経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	子ども会の会員割合		
款項目	09	教育費 / 05 / 社会教育費 / 04 / 青少年育成費	小事業区分	新規・(継続)		□ 成果目標がない	目標値	90.0	目標年度	令和 2年度

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	132		134	134
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	132		134	134
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	132	基準額・補助率・歳入科目コード等	134	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	132		134	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1301】（青少年健全育成）「青少年の健全育成 」
【★7次総 1304】（青少年健全育成）「子ども会・ジュニアリーダーの育成 」

小・中学生の健全育成を目指す。

事業の概要

子ども同士が仲良く活動でき、仲間づくりなどが積極的に出来る環境を作るように支援し、子ども会の会員を増やしていく。

事業の実績

育成協議会の定例会やふれあい交流会（チャレラン）などを開催し、多くの事業展開が出来ている。
小学校1年生から中学校2年生までの子ども会の会員割合
令和３年度　86.9%（485人/558人）
令和２年度　84.1%（487人/579人）
令和元年度　86.3%（489人/566人）
平成30年度　88.3%（494人/559人）
平成29年度　86.5%（468人/541人）

事業の成果指標

小学校１年生から中学校２年生までの児童生徒のうち子ども会の会員割合

事業の目標値

単位	%
R03 年度末	86
R04 年度末	87
R05 年度末	87

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

総会や役員会など、一部の方への負担が大きくなっているので、会議の統合などを行い、夜間の会議参加などを減らしていく必要がある。
子ども会などで、リーダーとして発揮できるように、JLCの会員を増やし育成していく事が必要である。

事務事業評価の結果（１次）	A	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
インリーダー研修会・育成者研修会、ふれあい交流会については、新型コロナウイルスの影響により中止したが、キッズでのゲームレクリエーション、定例会は行うことができた。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　一評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	12			中事業CD	08		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	05	成人式執行経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 05 社会教育費 04 青少年育成費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	4,017	公民館東側（キュービクル東側）の樹木が25mに到達し、郷土記念飛行に係る着陸時の安全距離が確保できないため、樹木を伐採するため、委託料が増額となっています。	3,513	2,494
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	22		22	246
1 消耗品費	22		22	109
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				137
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	253		277	200
12 委託料	649		275	79
13 使賃料	3,093		2,939	1,969
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	4,017	基準額・補助率・歳入科目コード等	3,513	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	4,017		3,513	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1301】（青少年健全育成）「青少年の健全育成 」

郷土への愛着を持ってもらうことで青少年の健全育成を目指す。

事業の概要

坂祝町出身、在住の新成人を対象に成人式を開催する。
坂祝町で生まれ育ってきた成人らに、ヘリコプターによる郷土飛行をしてもらい郷土への愛着を更に持ってもらう。

事業の実績

実行委員を募集し、趣向を凝らした式典の第２部が開催できている。
新成人が搭乗する郷土遊覧飛行も好評である。
Ｒ３年度（令和４年１月８日開催）
対象者数　　８４人
参加者数　　６５人
ヘリ搭乗者数　６２人
実行委員　　１１人（男６名、女５名）

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

年代によって実行委員の集まり具合がばらつくため、早い時期からの準備が必要である。

事務事業評価の結果（１次）	A	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	A	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
成人式実行委員と協力し、新型コロナウイルスの感染対策を検討、感染対策を徹底し、式典や記念飛行を行った。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	13			中事業CD	01		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	02	人権講演会事業（教育委員会）	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 / 05 / 社会教育費 / 01 / 社会教育総務費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	201	講師に作家／元高校教師の宮本延春（まさはる）氏を迎え、１２月に開催を予定している、青少年育成町民会議において、人権講演会も同時開催とする。同時開催とすることによって、集客の増加を図る。	201	230
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	200		200	230
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	1		1	
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	201	基準額・補助率・歳入科目コード等	201	
1 国庫支出金				
2 県支出金	100		100	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	101		101	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 6201】（人権尊重・男女共同参画）「人権に関する意識啓発」

人権に関する意識を高めるため、人権講演会を実施する。

事業の概要

県教育委員会主催の研修会への参加などを行いながら人権に関する知識を身につけ、町民の方にも広く人権の尊重を意識してもらうため、年間1回の人権講演会の開催を行う。
また、住民課の担当と連絡を密にし、同調しながら事業を進める。

事業の実績

年１回の講演会形式での実施を継続している。
R03年度　講演会参加者 約60人
R02年度　新型コロナウイルスの感染拡大防止のため講演中止
R01年度実績　講演会参加者 約100人
H30年度実績　講演会参加者 約100人
H29年度実績　講演会参加者 約100人

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

人権講演会のみ単独で行っているため、他の講座（鳩吹大学）の協力を得ても参加者数が少ない。
開催場所を研修室に変更することや、他に事業の一環として実施することなども考えながら、参加者数の増加を検討していく。

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
令和３年１２月４日（土）に青少年町民の集いと共同企画として笑福亭鶴笑さんを呼んだ人権講演会を開催した。『人を傷つけない 本当の笑い』をテーマとし、笑いながらも人権の大切さを学べる講演会を開催できた。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	14			中事業CD	01		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	01	文化財保護経費	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 / 05 社会教育費 / 09 文化財保護費	小事業区分	新規・(継続)		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	751		706	599
1 報酬	120		120	28
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	11		10	12
1 消耗品費	11		10	12
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	13		13	4
12 委託料	157		157	150
13 使賃料	404		360	360
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	46		46	45
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	751	基準額・補助率・歳入科目コード等	706	
1 国庫支出金				
2 県支出金	30		30	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	721		676	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1401】（文化芸術・文化財）「文化財の保護と活用」

町内にある文化財について、適正な維持管理を行う。
その他に郷土資料館の維持管理や運営についても行う。

事業の概要

町内にある文化財の維持管理
郷土資料館の維持管理及び運営

事業の実績

令和３年度　郷土資料館の開館日　５日／年

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

郷土資料館にある資料の維持管理の方法
郷土資料館の移転（農協の３階から）について早急な決定・準備が必要。

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
町内の文化財については、除草作業等を行い維持管理に努めた。郷土資料館については、郷土史研究会と協力し、定期的に開館した。また、郷土資料館移設に向けての協議も進めた。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	14			中事業CD	02		
		（目標）	－			（施策）	－
		（政策）				（主要な取り組み）	

小事業CD	01	文化財周知事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	文化財関係講座の開催数		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	09	文化財保護費	小事業区分	新規・(継続)		□ 成果目標がない	目標値	2	目標年度	令和 2年度

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	202	印刷製本費において、坂祝町の文化財と古墳マップの印刷を行わないため、減額となります。 ３市町で歴史講談を行うための業務委託料が増額となるため、42千円の増額となります。	200	35
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	40		40	10
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費			40	25
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費			40	25
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	162		120	
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	202	基準額・補助率・歳入科目コード等	200	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	17		17	
5 一般財源	185		183	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1402】（文化芸術・文化財）「文化財に関する意識の向上」

町内の文化財や地域伝統行事を紹介するようなパンフレットを作成し、住民に町の歴史や文化を広く周知する。

事業の概要

現在のパンフレットを更新し、持ちやすくするなどの工夫をして広く周知できるようにする。
歴史マンガ作成後の周知事業として、美濃加茂市、富加町と連携し、小学校において講談を実施する。

夕雲の城（ハードカバー）H29.3制作（定住事業）割当分　143冊/500冊（非買）
販売分　0冊/200冊
（ソフトカバー）H30.12制作（定住事業）販売分 258冊/400冊（400円）
ヒストリア　H30.9制作（町単独制作）　1,864冊/4,000冊　（300円）
町制50周年記念事業で制作　当時の小中生に配布。現在は新成人に配布。R3から小3年生に配布。
さるばみの春　H31.2制作（定住事業）　割当分　74冊/200冊（非買）
販売分　220冊/500冊（300円）　※本は残数　令和3年1月現在

事業の実績

Ｒ２年度　坂祝町の文化財と古墳マップ　150部を作成。
Ｒ元年度　「ノルディックウォーキングで歴史マンガゆかりの地を訪ねて」を実施し、講師はスポーツクラブと公民館職員で行った。坂文化遺産カード印刷　Ｉ種　５００枚

事業の成果指標

町内文化財を巡る講座などの開催数

事業の目標値	
単位	回／年度
R03 年度末	1
R04 年度末	1
R05 年度末	1

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

定期的なマップの更新

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
講談師を招き、小学校６年生に対して歴史PRマンガ「夕雲の城」を題材とした講談を行った。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　一評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課・社会教育係

大事業CD	14			中事業CD	03		
		（目標）	ー			（施策）	ー
		（政策）	ー			（主要な取り組み）	ー

小事業CD	01	地域伝統文化継承事業	事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標	ー		
款項目	09	教育費 / 05 社会教育費 / 09 文化財保護費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値	ー	目標年度	ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	40		40	30
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	40		40	30
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	40	基準額・補助率・歳入科目コード等	40	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	40		40	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1403】（文化芸術・文化財）「地域の伝統文化の継承」

住民自身による地域の伝統行事（伝統文化）の継承活動を支援する。

事業の概要

町伝統芸能を伝承する団体に補助を行い、活動を支援する。
町内の文化財が後世まで残るように、適正な維持管理と活用をする。

事業の実績

おどり保存会への補助
令和３年度　補助団体数　０団体
令和２年度　補助団体数　０団体
令和元年度　補助団体数　１団体

事業の成果指標

事業の目標値

単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標(課題・改善策等)

伝統文化継承への活動助成

事務事業評価の結果（１次）	B	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	B	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
新型コロナウイルスの影響で町おどり保存会活動ができず、補助金を交付したが戻入された。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし

令和　3年度事務事業調書

会計区分	01	一般会計	事業主体	06020000	教育課　社会教育係

大事業CD	51	（目標）	ー	中事業CD 12	（施策） ー
		（政策）	ー		（主要な取り組み） ー

小事業CD	20	中学生マラネロ派遣事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	□ 成果目標がある	成果指標 ー
款項目	09	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費	小事業区分	新規・継続		■ 成果目標がない	目標値 ー　目標年度 ー

（単位：千円）

	R03年度予算要求額	当該年度の事業詳細等	前年度(02年度)当初予算額	31年度決算額
○ 経費　計	0	中学生ホームステイ留学の概要	5,765	0
1 報酬				
2 ～4給料手当等		９日間のうちマラネロ滞在５日間		
5 災害補償費		中学生　５名		
7 報償費		引　率　４名（小中学校教諭１名ずつを含む）	50	
8 旅費		通　訳　１名		
9 交際費		計　１０名		
10 需用費			388	
1 消耗品費		派遣前にはイタリア語講座を含めた、６回程度の事前研修を実施する。	176	
2 燃料費				
3 食糧費			212	
4 印刷製本費		応募事前説明会　６月末から７月初を予定		
5 光熱水費		応募締め切り　８月３１日を予定		
6 修繕料		面接審査　９月中旬を予定		
その他		事前研修　１０月から毎月を予定		
11 役務費		壮行会　３月中旬を予定	211	
12 委託料			5,116	
13 使賃料		町民から平成３０年度に小中学校の教諭がマラネロ研修に行くよう寄付を頂いた。		
14 工事請負費				
15 原材料費		今後５回は小中学校の教諭を１名ずつ中学校マラネロ研修に引率する。		
16 公財購				
17 備品購入費		平成３０年度、令和４年度、令和６年度、令和８年度、令和１０年度は予算計上する。		
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金		令和２年度実施予定だったが新型コロナウイルス感染拡大のため、中止した。令和３年度は、引き続き世界中で感染が拡大している状況にあるため、実施は困難と判断し、中学生は派遣しない。		
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源　計	0	基準額・補助率・歳入科目コード等	5,765	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財			1,450	
5 一般財源			4,315	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★７次総 1108】（学校教育）「海外交流を通じた体験学習の推進」

マラネロ市のお宅に中学生がホームステイし、現地の文化を学ぶ。また、中学校にも通い、現地の子どもたちと交流し国際感覚を養う。

事業の概要

友好都市提携を結ぶマラネロ市に中学生を派遣し、マラネロ市の中学校生徒宅にホームステイし、交流を図る。また、学校にも通い、国際交流を図る。

事業の実績

2年ごとに、中学校1・2年生を対象にマラネロ市へ研修に行く
Ｒ３年度　中止（新型コロナウイルスが世界中で感染拡大しており、イタリアへの渡航が困難）
Ｒ２年度　中止（新型コロナウイルスが世界中で感染拡大しており、イタリアへの渡航が困難）
Ｈ30年度　中学生6人　小学校教諭1名　中学校教諭１名　教育委員2名　事務局1名　通訳1名　参加（第3回）
Ｈ28年度　中学生7人　中学校長　事務局1名　通訳1名参加（第2回）
Ｈ26年度　中学生4人　中学校長　事務局1名（総務課）　通訳1名（第1回）

事業の成果指標

事業の目標値	
単位	
R03 年度末	
R04 年度末	
R05 年度末	

R03年度の到達目標（課題・改善策等）

出発にあたり、マラネロ市や送迎関係等、現地とのやり取りを早めに行い、事前準備を十分に行う。

事務事業評価の結果（１次）	C	R03年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（２次）	E	R03年度の上限額	0	千円

＜特記事項＞
新型コロナウイルスの感染状況によりマラネロ派遣事業は中止とした。

【評価】　A拡充・重点化　B計画の承認　C見直し・縮小　D整理・統合　E休止・廃止　ー評価なし